

島津由行さん
ファッショニスタイリスト
**健康を気遣う友人も
増えたけど
一番変わったのは僕かも。**

PROFILE

しまづよしゆき
YOSHIO SHIMAZU



熊本県生まれ。雑誌・CF・広告を中心に、多くのタレントやミュージシャンのスタイリングを担当。またファッショニスターの構成・選曲や雑誌のクリエイティブディレクション、服のデザインも手掛けている。



(1)



(2)

(3)

① ハイ・ゲンキ スピルリナ

鞆の中に入り、食事の際に一緒に取ったり。玄米酵素にβカロテンや葉緑素を含むスピルリナ（食用藻）を配合。顆粒・90袋入り ￥4,800（玄米酵素本社☎011-736-2345）

② 阿蘇の薬湯山人茶

出合いは地元・熊本のデパートの物産展。はと麦、熊笹茶、ピワ茶ほか39種類を配合し、便秘にも効果大。自宅や事務所の常備品。380g ￥1,620（清香園☎0120-325-118）

③ えごま油

脂肪を減らす効果があるα-リノレン酸が豊富。昔ながらの「石臼式玉締め搾り」と手漉き和紙で濾過して作られる国産最高峰の品。100g ￥2,000（鹿北製油☎0995-74-1755）

に3本の仕事を入れ朝まで深酒。そんな生活を続けていた30代半ば、島津由行さんの顔が黄疸の色に。病院で胆石が見つかり、かかった鍼灸師から「脾臓が参っている」と言われました。そこで初めて自分の体を気遣うように。食事面では揚げ物を排除。好物のパスタ以外は小麦も極力避け、玄米食中心。以来四半世紀、健康食も数々試してきたそうです。近頃、手放せないのは〈阿蘇の薬湯山人茶〉と玄米酵素の〈ハイ・ゲンキ〉。「元来、緑茶好きですが、これは漢方薬のような複雑な味わい。脂肪分を流す効果があるらしく、あえて濃く煎れます。抗酸化力が優れていると勧められた玄米酵素は、癌を患った知人が自家製酵素を取り始めたこともあり続けています」。ほかにえごま油やビタミンB群も欠かさず、おかげで体調は40代の頃より格段に改善。「通い続ける鍼の先生によると、あのままだと長くは生きられなかったとか。今は風邪も引かないのにね（笑）」

藤本靖さん
ロルファー
**食べて体が実際に
どう感じるか、
それが大事な指標。**

PROFILE

ふじもとやすし
YASUSHI FUJIMOTO



兵庫県出身。東京大学卒業後、政府系金融機関に勤務。その後大学院に戻り、「心と身体の関係」について研究を重ね、「ロルファー」の国際認定資格を取得。その理論と実践の場としてスタジオ「オールブルー」を主宰。

「自分の体の面倒は自分で見たい」。その思いが現在の仕事に至るモチベーションだったと語る藤本靖さん。大学院で研究を重ね、ボディワークで感覚を磨き、「食べるセンス」を培ってきました。「食物を取り込んでしばらく体に起こる変化を内観します。その点、水は人間に必要不可欠。差異も繊細なので、自分のセンサーを確認する“ベースライン”には最適です」。ここ数年、藤本さんが愛飲する水は〈月のしずく〉。周囲にもファンが多く、飲むと神経が調整され、楽になるという。またアーユルヴェーダ由来のハーブティー、〈ヨギティー〉も自宅に全種類をストック。体調をリセットしたい際、気分に合わせてセレクトして飲んでいます。「コーヒー やお酒も、体が欲すれば飲みますよ。巷の健康情報に振り回されるよりも、飲食を介し、絶えず自分の体と対話する。その姿勢こそ必要だと思います」。ここにも“感じる力”を大切にする藤本式が健在でした。



(1)



(2)

① ヨギティー

インドのヨガの名師、ヨギ・バジャンが生みの親。100種以上のハーブやスパイス、植物を緑茶、ハーブティー、紅茶に調合。効能別に全12種。

② 希望の命水

知人に紹介され、時々飲んでいる。36種類以上のミネラルが入って、飲んだ瞬間に頭がすっきり軽くなる。1本（2ℓ）が￥10,000と値は張るが、個人的には効果を実感。

③ 月のしづく

和歌山の高野山麓の湧水「金水」と、その後に発見された温泉水「銀水」をブレンド。『ミネラルウォーター完全ガイド』（だいわ文庫）で5ツ星を獲得。2ℓ×6本入り ￥4,800（ゆの里☎0736-32-2929）



(3)